

日本と英語のなぞなぞ比較 (1)

——反義語の用法を中心に——

清 海 節 子

1. はじめに

本稿は、日本と英語のなぞなぞの反義語に注目して、その違いを比較検討することを目的とする。日本の伝統的ななぞなぞと、英語（主にイギリス）のなぞなぞの間にどの程度の違いがあるのだろうか。また、著しく異なる性質が観察されるのであろうか。反義語を通して、日本と英語のなぞなぞを取り扱うことで何らかの新しい発見があることを期待して比較し考察する。

なぞなぞは、言葉による問いかけとそれに対する答から成立し、「比喩」と「矛盾」が二つの重要な要因であると考えられる（池上 1992: 134-179）。これらの要因と表現の特徴の関係を考えると、反義語がしばしば使用されていることに気づかされる。特に、「比喩」なし「矛盾」ありに当てはまるなぞなぞ（例：「座ると高く、立つと低くなるもの、ナ－ニ」（答：天井））に反義語が多く使用されている印象がある。清海（2011）は、反義語と矛盾に密接な関係があるかどうかを知るために世界のなぞなぞを調査し、その結果、「矛盾」と同様に「比喩」を表すなぞなぞにも反義語が同じような頻度で用いられていることが分かった。従って、反義語は、なぞなぞの「比喩」、「矛盾」の両要因に関係なくしばしば使用される表現である。

本稿の構成は以下の通りである。次の2節では、なぞなぞの種類と構造について述べられる。3節では、反義語についての考察と分類が説明される。4節では、今回調査された反義語の分類によって、日本と英語のなぞなぞの例が検討される。その後5節では、相違点についての考察がされ、最後の6節では結論が述べられる。

2. なぞなぞの種類と構造

鈴木（1981）は、日本のなぞなぞを「二段なぞ」、「三段なぞ」、「考えもの」、「やまとことば」の4種に分類している。「二段なぞ」は、「…なものはなに？」と問う素朴な形式で、「三段なぞ」は、「…とかけて…と解く。その心は…？」と三段で構成される大人

のためのものである。「考えもの」は専門家の作為的性格のもの、そして「やまとことば」は歌語によるなぞなぞで恋の応援に使用されたものである。一方で、英語のなぞなぞは、橋内(1990)によると、解き方から「意味解きなぞ」、「音解きなぞ」、「文字解きなぞ」の3類型に分類されている。「意味解きなぞ」は、比喩(隠喩)を手がかりに解く‘true riddle’であり、日本の「二段なぞ」と同質のことば遊びであると考えられる。「音解きなぞ」は同音異義を手がかりに解く‘conundrum’で、「文字解きなぞ」は、文字の形や綴り字を手がかりに解く‘the rebus’である。以上の分類に従い、本稿では、子供のための日本の「二段なぞ」と、それに相当する英語のなぞなぞの‘true riddle’を扱うことにする。

次に、なぞなぞの構造について考えていく。Petschによると、基本的な要素は以下のように5つある。

Perhaps the earliest structural analysis in terms of basic units is that of Petsch 1899. He sees five basic elements in the riddle form: an introductory frame, a denominative kernel, a descriptive kernel, a block or distractor element, and a concluding frame. (Pipecello and Green 1984: 73)

Petsch が提案した5つの要素を池上(1992: 169)は、(i) 導入的枠組要素、(ii) 呼称的中核要素、(iii) 叙述的中核要素、(iv) 阻止的要素、(v) 終結的枠組み要素と訳している。また、以上の5つの要素をもつもっとも完備したなぞなぞで古いドイツ語で書かれた例を要素(i)-(v)とともに以下のように挙げている。

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 私の父さんの庭の中で | (i) |
| 七人づれを見かけます。 | (ii) |
| かしでもないし、ぶなでもない。 | (iii) |
| 誰もそこまで届かない。 | (iv) |
| 誰でもこれが解けるなら、 | } (v) |
| ダカット金貨をあげましょう。 | |
| 誰でもこれが分かるなら、 | |
| ルイスドル金貨をあげましょう。 | |

池上は、5つの要素すべてが備わったものは稀であると述べ、英語のなぞなぞの中から比較的多くの要素が含まれるものを紹介しているが、そのうち 2つは以下のようなものである (池上, 1992 : 170-171)。

- | | | |
|-----|-------------------|-------------------|
| (2) | なぞなぞ, ナーニ | (i) |
| | 赤い長い服着た人に会いました。 | (ii) |
| | 裾には, 棒, 首のところには石。 | (iii) |
| | なぞなぞ, ナーニ。 | (v) (答え : さくらんぼう) |
-
- | | | | |
|-----|----------------|---------------------|------|
| (3) | ベイスン橋を渡っていたら, | (i) | |
| | 妹のケートに会いました。 | (ii) | |
| | 妹の首を折った上に, | } | (vi) |
| | その血を飲んでやりました。 | | |
| | 何のことだかお分かりですか。 | (v) (答え : ワインの入った瓶) | |

要素の中で, i)「導入的枠組要素」と (v)「終結的枠組み要素」は, しばしば定型句であり, 日本語と英語の表現には以下が多く見つけられる。

- | | | | |
|-----|-----|-----|---|
| (4) | 日本語 | ——— | (i) : 「なぞなぞなあに」 |
| | | | (v) : 「…なあに」「…なんだ」 |
| (5) | 英語 | ——— | (i) : 'Riddle me, riddle me' |
| | | | (v) : 'What is that?' 'Tell me this riddle' |

池上は, (i)「導入的枠組要素」と (v)「終結的枠組み要素」は装飾部で, 「なぞなぞ」にとって任意的要素であると述べている。また, (ii)-(iv)までを文法の主題と叙述の関係になぞらえると, (ii)「呼称的中核要素」は主題で, (iii)「叙述的中核要素」と (iv)「阻止的要素」は叙述であると考えている。これらの3要素がすべて義務的要素であると思われるかもしれないが, 実際には, なぞなぞの成立に関わる最小限必要条件は, (iii)または (iv)の内どちらか一つ存在することであると池上は主張している。重点が「比喩」に置かれて成立しているなぞなぞでは, (iii)「叙述的中核要素」が, また「矛盾」に重点が置かれるなぞなぞでは, (iv)「阻止的要素」が必要な条件であると想像される。また, 文の構造に例えられる理由としては, 例えば, 日本語の文で, 「今日は (主

題) 良いお天気だ (叙述)」を「良いお天気だ (叙述)」と主題なしで表現することができるように、「なぞなぞ」と「文」の構造には平行性が見いだされると説明している。

3. 反義語とその分類

反義語の分類の説明をする前に、最近の接続詞「逆に」の用法について興味深い観察を紹介する。この用法は、反義語の本質的な要素である「対立」と同じ性質を共有していると思われる。以下、実際の発話での反義語に関連しても言及する。

3.1 「逆に」の考察

野村 (2004: 66-70) は、ラジオからのデータを基にし、最近の傾向として接続詞の「逆に」が頻繁に本来の意味からずれて用いられていることを指摘している。「逆に」と言えば、次の例のように、その後で、それまでの内容の反対のことを言うことが本来の使い方である。

- (6) 「開発途上国の人は世界の人口の八割なのに、持っている富は二割なんです。
逆に言えば、二割の先進国の人間が八割の富を握っているんです。」

しかし、野村は「逆に」の新用法として前件に相反することを表現せずに、「他方で」「そのことよりむしろ」「言い換えれば」「その代わりに」「今度は」などの意味を表す例を以下のように挙げている。

- (7) (「他方で」の意味としての「逆に」)
「教員の平均年齢が上がっているという結果が出ました。これとは逆に、女性校長は増えているということです。」
- (8) (「そのことよりむしろ」の意味としての「逆に」)
「私は、逆に40歳のおじさんがヒッキーと呼ぶことに驚きました。」
(「私は40歳のおじさんですが、ヒッキーの入籍にはびっくりしました」と言う聴取者に対しての番組のアシスタントの発話)
- (9) (「言い換えれば」「別の言い方をすれば」の意味としての「逆に」)
「アルマーニの会長さんは、タイにポケットマネーを350万円出して施設を作っていました。逆に、それだけでできるということです。」

(10) (「その代わりに」の意味としての「逆に」)

「若い男性に欠食傾向が見られるというんです。食事をしないんですね。

逆にサプリメントを摂取しているという。」

(「食事の代わりに；食事をしないで」の意)

(11) (「今度は」「いまでは」の意味としての「逆に」)

「三連休にしてハッピー・マンデーはいいんですけど、**逆に**連休明けの火曜日に学校に行きたくない、体調が悪いなどという子どもが増えている。ブルー・チューズデーなんですね。」

複数の意味で使われるようになった便利な接続詞「逆に」の用法を、野村は次のように要約している：「話し手の意識のなかで、どんなに小さなことでもかまわない、何らかの対立要素が認められれば、『逆に』が使われる」(野村, 2004: 69)¹⁾。野村の観察で、「逆に」が語彙レベルでなく、文レベルで使用されていることから、反義性が弱まっていると推測することも可能である。しかし、元来の意味から逸脱し、野村の主張する「何らかの対立要素」としての意味を表現することに我々は注目すべきである。このような意味の変化は、反義語にも当てはまるように思われる。それは、話し手にとって何らかの対立要素があると意識されれば、反義語であると見なす傾向があるだろうからだ。例えば、次の表現を考えてみよう。

(12) 「うれしいけど、くやしいです。」

上の表現は、スポーツ選手が世界大会で優勝した時に感想を尋ねられた時の答えとしての発話である。この選手は優勝したことには喜んでいるが、演技が自分の期待したレベルに十分に達していなかったことを悔やみ、心の底から嬉しいわけではないことをこのように言い表している。この表現では、明らかに「うれしい」は、「くやしい」に対比されているので反義語と考えたいところだが、『活用自在反対語対照語辞典』と『反対語便覧』によると、「うれしい」の反義語は「かなしい」であり、『反対語対照語辞典』では、「かなしい・せつない」である。従って、これらの辞書によると、[ウレシイークヤシイ]は反義語ではない。しかし、[ウレシイーカナシイ]とは、同じレベルでないにしても、[ウレシイークヤシイ]の関係にある程度の反義性が感じられないだろうか²⁾。以上の三冊の辞書すべてに「くやしい」という項目がないが、『活用自在反対語対照語辞典』と『反対語便覧』には、「くやしなき」と「くやしなみだ」という項目があり、

その反対語は、それぞれ「うれしなき」「うれしなみだ」である。これらの辞書では、「泣く」という動作に関連する場合に限って、「くやしい」と「うれしい」が反義語であるとされ、それ以外では反義語とみなされていない。

実際の発話では、発話する個人の判断によって、反義語であると意識されても、辞書にあるような標準的な例から少々逸脱することもしばしばあると考えられる。対照的に、本稿が扱うなぞなぞのような民間に伝わることば遊びでは、このような傾向は最小限に抑えられ、多くの場合には、規範的な反義語が用いられている。その理由は、なぞなぞが子供のためのことば遊びで、子供はなぞなぞを解くことを楽しみながら、同時にことばを学習するのであり、そのために、誰にとっても反義語であると分かる標準的な例が使用されるのであろう。実際、子供はかなり幼い時期から反義語を習得することが報告されている (Murphy, 2003: 212)。

3.2 反義語の分類

次に、今回使用する反義語の分類について述べることにする。反義語にかんしては、学者による用語や分類が複数あり、分類方法は定まっていない³⁾。本稿では、対立する意味の語のペアを「反義語」と呼ぶことにし、品詞を基本にした森岡 (1987) の基準をある程度緩やかにした4分類 (名詞、関係概念、形情性概念、動作性概念) を採用する。

森岡 (1987: 172-173) は、具体名詞には反義語がないと考え、「山と川」「手と足」等のような名詞の不釣り合いな組み合わせをセット語であると考えている。しかし、本稿では、[山-川]のように反義語の辞典⁴⁾に収録されている場合は反義語とみなした。また、森岡は、以下のように、具体名詞以外の抽象概念を「関係概念」「形情性概念」「動作性概念」に三分類している。

- (13) (i) 関係概念 (a) 時間 --- 例: [朝-夕], [きのう-あす]
 (b) 空間 --- 例: [上-下], [左手-右手]
 (c) 人間関係 --- 例: [おじいさん-おばあさん], [父-母]
 (ii) 形情性概念 --- 形容詞・形容動詞
 例: (和語系語基) [大き-小さ], [高-低]
 (漢語系語基) [忙-閑] [静-動]
 (iii) 動作性概念 --- 動詞: 肯定と否定, 能動と受動, 相対的対立

品詞として、(i)「関係概念」は主に名詞、副詞に相当し、(ii)「形情性概念」は、形容

詞と形容動詞を指す。「動作性概念」は動詞類の語基を指し、その特徴は、反義語関係が文法的に一つの語基から、[肯定-否定]だけでなく[能動-受動]からも形成される点である。また、反義語のペアが異なる語彙から成立するのが[相対的対立]である。

4. なぞなぞの中の反義語

本稿では、『世界なぞなぞ大辞典』(1984)で紹介されている「日本本土のなぞなぞ」と「イギリスのなぞなぞ」を調査した。イギリスのなぞなぞは、基準として、分かりやすく面白いもので、イギリス(ケルト語圏を除く)とアメリカ合衆国に限る基準で精選された130が紹介され、いわゆる意味解きなぞに限られている⁵⁾。日本本土のなぞなぞは、二段なぞと三段なぞが紹介されているが、本稿では、意味解きなぞに相当する158の二段なぞだけが検討される。従って、日本のなぞなぞ158と、英語のなぞなぞ130をサンプルとするので、数は日本の方が約1.2倍多い。

次に実例を見ていくことにする。それぞれの組み合わせで、どの種の問題が何例含まれているのか、複数組の場合にはどの問題の組み合わせであるのかについて以下にまとめた。一对の反義語には、同じ種類の下線が施され、括弧内は答えが書かれている。答えの後に反義語を四角の括弧内に書き入れた。また、日本のなぞなぞでは、最後の「…なぞに」は省略してある。4.1-4.4までは、1組の反義語がみつけれられるなぞなぞを日本語、英語の順で紹介する。4.5では、2組の反義語、4.6では、3組の反義語、4.7では、4組の反義語が含まれるなぞなぞを扱う。

4.1 名詞1組

具体名詞の反義語は日本のなぞなぞには3例で、英語は5例見つかった。日本の1例以外は、体の部分を表す語彙であることに注目すべきである。

- (14) 骨と皮ばかりで手足が1本もないもの。(傘) [骨-皮]
(15) 骨と皮ばかりでいばっているもの。(たこ 尻) [骨-皮]
(16) 腹で食べて、背中へ出すもの⁶⁾。(かんな) [腹-背中]
(17) Sometimes with a head, 頭があることもあり,
Sometimes with no head at all, ないこともあり,
Sometimes with a tail, 尾もあることもあり,
Sometimes with no tail at all. ないこともある。

- What am I? さて私はなんでしょう。 (wig : かつら) [頭-尾]
- (18) Four fingers and a thumb, 指は5本あるけれど,
Yet flesh and bone have I none. 骨も肉もない私。
(glove : 手袋) [骨-肉]
- (19) Wooden belly, iron back, 木製の腹, 鉄製の背中
Fire in th' hole, goes off with a crack.
穴の中の火が, 大音響で飛び出す。 (a rifle : ライフル銃) [腹-背]
- (20) Long neck and no hands, 首ながで手は1本もなく,
Hundred legs and can't stand, 足は百本あるのに立てない,
Runs through the house of a morning, 朝の家を走り抜ける,
Stands behind the door when company comes.
仲間が来ると戸口の後で立っている。 (broom : ほうき) [手-足]⁷⁾
- (21) It has a head like a cat, 猫のような頭と,
Feet like a cat, 猫のような足と,
A tail like a cat, 猫のような尻尾がありながら,
But it isn't a cat. 猫ではない。 (kitten : 子猫) [頭-尾]

4.2 関係概念1組

関係概念が1組含まれる例は, 日本のなぞなぞには 12例あり, 英語では 9例であり, 顕著な違いではないが, 日本の方が少し多い。

「時間」

- (22) 昼間は重なって夜は並んでいるもの。(雨戸) [昼-夜]
- (23) 夏着物を着て, 冬裸になるもの。(木) [夏-冬]
- (24) 晩方おばんです, 朝はさようならと帰るもの。(電灯) [晩-朝]
- (25) 朝 4本足, 昼は 2本足, 夜は 3本足⁸⁾。(人の一生) [朝-夜]

「空間」

- (26) 天びっかり地もぐり。(鋤^{くわ}) [天-地]
- (27) 8人で鉢巻きをして, あの山を越え, この山を超えているもの。
(俵あみ) [あの-この]
- (28) 外は白壁, 中どろどろ。(卵) [外-中]

- (29) 下でぶらんこ, 上でかけっこ。 (柱時計) [下-上]

「人間関係」

- (30) 親は2人で子のたくさんあるもの。(はしご) [親-子]
(31) 親は竹々, 子はレンゲ, 花は咲いても実はならぬ。
(ミョウガ) [親-子]
(32) 弟は, 1回り, 兄さん12回り。(時計の針) [弟-兄]
(33) ひとが見ているとみっともなくで, 自分は気持ちがいいもの⁹⁾。
(居眠り) [人-自分]

「時間」

- (34) What runs about all day and lies under the bed at night?
日中走り回って, 夜はベッドの下で眠るもの。(shoe : 靴) [昼-夜]
(35) Round the fields all day, 昼間は野原にいて,
Sits on the table at night. 夜には食卓に座っているもの。
(milk : 牛乳) [昼-夜]

「空間」

- (36) Riddle me, riddle me, what is that? なぞなぞなあになぞなぞにあに,
Over the head and under the hat? 頭の上で帽子の下。
(hair : 頭髮) [上-下]
(37) What state is round at both ends, and high in the middle?
両端が丸くて中央が高いのは何州。(Ohio : オハイオ) [端-中央]
(38) One top, てっぺん一つ,
Two ends, 端2つ,
Four legs, 4本足で,
No bottom. 底なしさ。(table : 食卓) [てっぺん-底]¹⁰⁾
(39) Hitty Titty upstairs, ヒッティー・ティッティーは, 階上に,
Hitty Titty downstairs, ヒッティー・ティッティーは, 階下に,
You touch Hitty Titty, ヒッティー・ティッティーにさわったら,
Hitty Titty bite you. ヒッティー・ティッティーに, 刺されるぞ。
(wasp : スズメバチ) [階上-階下]

「人間関係」

- (40) I'm in everyone's way, ぼくは通り道にいるけれど,

Yet no one I stop: 通せんぼなんかしてないよ。

My four arms in every way play, 4つのお手手は自由自在,

And my head is nailed on at the top. 頭のとっぺん釘付けさ。

(turn-stile : 回転式木戸) [no one—everyone¹¹⁾]

- (41) As I was goin' up London Bridge, ロンドン橋を渡っていくと,

I met three living people. 3人の生身の人間に出会った。

They were neither men, women nor children.

彼らはそろって、男でもなく、女でもなく、子供でもない。

(Was a man, a woman, and a child :

一人の男と一人の女と一人の子) [男-女]

- (42) What is that which a gentleman has not, and never can have, but may give to a lady?¹²⁾

紳士は持たないし、持ち得ないが、御婦人にあげられるもの。

(husband : 夫) [紳士-淑女]

4.3 形状性概念1組

日本語では形容詞または形容動詞の相当するもので、1組の反義語として使用されているのは5例である。形状性概念で注目すべき点は、色の語彙がよく用いられることである。なぞなぞによく使用される色に関して調べてみると、『反対語対照語辞典』では、「白」は「黒」と「赤」の2語と対立し、「黒」も同様に、「白」と「赤」と対立関係にある。しかし、「赤」は、「白」「黒」以外に、「黄」「青」「緑」とも対立する。即ち、[白-黒] [白-赤] [赤-黒]の反義関係以外にも、[赤-黄] [赤-青] [赤-緑]の反義関係が成立すると考える。2組以上の色の反義関係があるものは、4.5.6で扱う。

- (43) 白い着物を着て、まっ赤な顔して、涙流しているもの。

(ろうそく) [白い-赤い]

- (44) 大きくなればなるほど小さくなるもの。(着物) [大きい-小さい]

- (45) 1つの字を書くと、赤になり、2つ字を書くと白になるもの。

(チ:「血」と「乳」になる) [赤い-白い]

- (46) 寒いときに熱く、暑いときにさむいもの。(ストーブ) [寒い-あつい]

- (47) 青い畳の上に真つ赤な顔していばっているもの。(柿) [青い-赤い]

次に、英語のなぞなぞでは 7例に形容詞 1組の反義語が見つかった。そのうち 4例は色の語彙の反義語ペアである。

- (48) Long legs an' short thighs, 長い足と短いもも,
Rusty back an' bullet eyes. 赤茶けた背と小さい目玉。
(frog : カエル) [長い-短い]
- (49) I have long legs, 脚長で,
But short thighs, 曲がった股,
A little head, 小さな頭,
And no eyes. の目なし君。
(a pair of tongs : 火箸一対) [長い-短い]
- (50) As I went across the bridge, 橋を渡っていったら
I met a man with a load of wood 木を積んだ男に出会ったが,
which was neither straight nor crooked.
その木はまっすぐでもなく、曲がってもいなかった。
What kind of wood was it? 一体どんな木だったのだろう。
(a load of saw-dust: おがくず) [まっすぐ-曲がって]
- (51) Thirty white horses 真っ赤な丘に
Upon a red hill, 30頭の白い馬,
Now they stamp, 足踏みしたり,
Now they champ, むしやむしやしたり,
Now they stand still. じっとそのまま立ち尽くしたり。
(teeth : 歯と歯茎) [白い-赤い]
- (52) The land was white, 白い地に,
The seed was black ; 黒い種子。
It will take a good scholar なぞ解きしたきや,
To riddle me that. 学者先生連れてこい。
(book : 本) [白い-黒い]
- (53) Black and white and red all over.
クロ、シロでアカ (字) だらけ。 (newspaper : 新聞) [黒い-白い]
- (54) Stiff standing in the bed, ベッドの中で身を硬くして立ち,
sometimes white and sometimes red,

ときには白くときには赤くなる,
 Every lady in the land 田舎の婦人ならば
 Takes it in her hand, 手にとって,
 And puts it in the hole before. 口に入れる。
 (radish: 赤カブ) [赤い-白い]

4.4 動作性概念1組

反義語が動詞 1組であるなぞなぞは、日本の二段なぞで 11例見つかったが、英語のなぞなぞは 3例だけであり、日本の方が 3倍以上あることになる。日本のなぞなぞは、[肯定-否定] が 5例で、相対的対立は 6例であり、英語は、[肯定-否定] が 2例で、相対的対立が 1例である。

- (55) お竹さんのしりを出たり 入ったりするもの。(鉤^{かぎ}づつ) [出る-入る]
 (56) ひとの家へ行って大戸から引返して来るもの。(杖) [行く-来る]
 (57) 金の丸太に綱つけて、綱を引か^{かね}ずに、丸太を引くもの。
 (針) [引かず-引く]
 (58) 行ったり来たり きなこのごっそう。(鋸^{のこぎり}) [行く-来る]
 (59) 3里行っては帰ってくるもの。(糸より車) [行く-帰る]¹³⁾
 (60) いくらあってもないもの¹⁴⁾。(梨) [ある-ない]
 (61) 返しても借りぬもの。(あいさつ) [返す-かりる]¹⁵⁾
 (62) 居ない時居て、居る時居ないもの。(留守番) [居ない-居る]
 (63) 目で見ないで手でみるもの。(湯加減) [見ない-見る]
 (64) 食う時に食わぬもの、食わぬ時に食うもの。
 (魚釣りの弁当) [食う-食わぬ]
 (65) いくら解いても解けないもの。(題のない謎) [解く-解けない]¹⁶⁾
 (66) If you feed it, it will live, 餌をやったら、生きているが,
 If you give it water, it will die. 水をやったら、おしまいさ。
 (fire : 火) [生きる-死ぬ]
 (67) If he comes, he no comes, 来ると、ない。
 If he no comes, he comes. 来ないと、ある。
 (Crow and corn : カラスとトウモロコシ) [来る-来ない]
 (68) It runs all day, 一日中走っても、

But never does run away. 逃げ出さないもの。

(clock : 柱時計) [走る-走らない]

4.5 2組の反義語を含む例

次に2組の反義語が見つけれられたなぞなぞを調べることにする。以下、括弧内に省略された分類名が書かれ、「名」は「名詞」,「関」は「関係概念」,「形」は「形情性概念」,「動」は「動作性概念」を表している。全部で8種類の組み合わせがあり, 4.5.1-4.5.8で各組み合わせの例を挙げる。

4.5.1 [名] [関]

名詞と関係概念の反義語が見つけれられた例は, 英語の1例と日本の2例である。関係概念は, 日本のなぞなぞは,「空間」2例で, 英語は「人間関係」が1例である。

(69) 上は大水, 下は大火事。 (風呂) [上-下] [水-火事]

(70) 上は大火事, 下は大水。 (ランプ) [上-下] [水-火事]

(71) Two people sat down on a log to rest.

2人の人が丸太ん棒に座って休んだ。

One was the father of the other 一方は他方の父親だが,

but the other was not his son. 他方は本人の息子ではない。

What kin were they? 一体この2人はどんな関係?

(a father and a daughter : 父と娘) [一方-他方] [父-息子]

4.5.2 [名] [動]

名詞と動詞の反義語が含まれるのは, 日本と英語それぞれ1例だけである。動詞は, 両方とも「相対的対立」である。

(72) 入口があつて出口がないもの。(靴下) [入口-出口] [ある-ない]

(73) It goes all over hills and plains.

丘や平地のいたる所に行くけれども,

But when it comes to a river, it breaks its neck.

川に来ると, 首を折って死んでしまうもの。

(path : 道) [行く-来る] [山-野]¹⁷⁾

4.5.3 〔関〕 〔関〕

関係概念の反義語が 2組見つかる例は、日本のなぞなぞに 3例あった。「空間」と「人間関係」に関連するものが 3例ずつ見つかった。

- (74) お前そっちを回る、私はこっちを回る。 (桶のたが)
[お前-私] [そっち-こっち]
- (75) 朝起きて、おめえ向こうへ行け、わしこっち、あとで一緒になるもの。
(帯) [お前-おれ] [向こう-こっち]
- (76) 天から落ちて地に転げ、青い小袖を脱ぎ捨てて、じじい ばばあ^{かね}に金のくさびで口を割られるもの。 (クルミ) [天-地] [じじい-ばばあ]

4.5.4 〔関〕 〔形〕

関係概念と形情概念の 2組の反義語が含まれる例は、日本が 1例、英語が 4例である。関係概念は、日本の例では「時間」が 2例、英語は「空間」が 4例である。形情概念色は、英語の 2例が色の語彙である。

- (77) 昼いっぱい、夜からになるもの。(押し入れ) [昼-夜] [いっぱい-から]
- (78) A large theatre has two window upstairs, 大劇場の2階には窓2つ,
two window downstairs, 1階にも窓2つ,
a large door with white people, 白人が並んだ大きな扉と
a red stage. What is that? 赤い舞台が1つずつ。それは何?
(a person's head : 人の頭) [2階-1階] [白-赤い]
- (79) Two brothers we are, ぼくらは双子,
Great burden we bear, 重い重い負担に耐え,
We're sorely oppressed, ひどい重荷に苦しめられ,
Full all the day, 1日中ぎゅうづめで,
An' empty at night, 寝るときだけが,
When we go to rest. すっからかん。
(pair of shoes : 靴) [いっぱい-空^{から}の] [昼-夜]
- (80) Big in the bottom, 下は大きく,
Little at the top, 上は小さく,

Something in the middle 中では回る,

Go flippety-flop. ばたばたと。

(churn : 攪乳器) [大きい-小さい] [下-上]

(81) Black within and red without, 内側は黒く, 外側は赤く,

Four corners round about. 四隅は丸い。

(chimney : 煙突) [内側-外側] [黒い-赤い]

4.5.5 [関] [動]

関係概念と動詞の 2組の反義語は日本のなぞなぞでは 1例, 英語では 4例見つかった。関係概念は, 日本のなぞなぞが「空間」(1例)で, 英語は, 「空間」(3例)と「時間」が 1例である。動詞は, 日本の例が相対的対立で, 英語は, 相対的対立が 3例と[肯定-否定]が 1例である。

(82) 下から食べて上から吐き出すもの。(煙突) [下-上] [食べる-吐く]

(83) Come up and let us go; 上がれ, さあ行こう。

Go down and here we stay. 下がれ, さあ停泊だ。

(anchor : 錨^{いかり}) [行く-来る] [上-下]

(84) What goes up an' never goes down?

上っていくが, 下がることもないもの。(smoke : 煙)

[行く-行かない] [上-下]

(85) What goes with a coach, 馬車と出かけ,

And comes with a coach? 馬車とやってくる。

And the coach can't go without it. つまり馬車のお供というわけ。

(noise : 騒音) [行く-来る] [一と一緒に-一なしで]¹⁸⁾

(86) Lives in winter,

Dies in summer,

And grow with its root upwards. (icicle : つらら)

[生きる-死ぬ] [冬-夏]

4.5.6 [形] [形]

形状性概念が 2組備わったなぞなぞは日本語 3例と英語 3例あった。最初のなぞなぞ以外は, 色の語彙の対立が 2組見られる。

- (87) 若い日は白髪で、年をとる¹⁹⁾と黒くなるもの。 (筆)
[若いー年取った] [白いー黒い]
- (88) 最初に黒くて、次に赤く、次には白くなるもの。 (灰)
[黒いー赤い] [赤いー白い]
- (89) 青山越えて、赤山越えて、中に黒ん坊。 (スイカ)
[青いー赤い] [赤いー黒い]
- (90) Guess a riddle now you must, このなぞ、解け解けすぐに解け、
Stone is fire, and fire is dust, 石は火に、火は灰に、
Black is red, and red is white; 黒は赤に、赤は白に、
Come and view the wondrous sight.
この不思議な光景を見においで。
(coal : 石炭) [黒いー赤い] [赤いー白い]
- (91) A tall white man with red face and blue hair. What is that?
赤ら顔で青い髪をした、のっぽの白人ってなんだろう。
(a match : マッチ) [白いー赤い] [赤いー青い]
- (92) On the hill there's a green house, 丘の上に緑の館、
In that green house there's a white house, その中には白い館、
In that white house there's a red house, その中には赤い館、
In that red house there are lots of little black and white man.
その中にはしろと黒の小人が大勢住んでいる。
(watermelon : スイカ) [白ー赤] [白ー黒]

4.5.7 [形] [動]

動作的概念と形状性概念の反義語が1組づつ使われている例は、日本のなぞなぞに5例見つけられ、英語には1例もなかった。動詞は、4例が相対的対立で、1例が[肯定-否定]である。

- (93) 濡れた着物を着て、かわくとぬぐもの。(物干し竿)
[濡れる-乾く]²⁰⁾ [着る-脱ぐ]
- (94) 大きいものが入れて、小さいものが入れないもの。^{かや}(蚊帳)
[大きいー小さい] [入れるー入れない]

- (95) 座れば高くなり、立てば低くなるもの。(天井)
[座る-立つ] [高い-低い]
- (96) 行く時軽くて帰り²¹⁾に重くなるもの。(つるべ)
[行く-帰る] [軽い-重い]
- (97) 立つと若くて座ると年寄²²⁾。ちょうちん(提灯) [立つ-座る] [若い-年寄り]

4.5.8 [動] [動]

動詞の反義語が 2組見つかるなぞなぞは、日本の 4例だけで、英語には 1例もなかった。全部で 8組の反義語の内、相対的対立が 3組あり、[肯定-否定] は 5組である。

- (98) 居る時戸を閉めて、居ぬ時開けとくもの。うまや(厩)
[居る-居ぬ] [閉める-開ける]
- (99) いる時いらず いらない時いるもの²³⁾。(風呂桶のふた)
[入る-入らない] [要らず-要る]
- (100) いる時に帽子をとり いらない時に帽子をかぶるもの。(万年筆)
[いる-いらない] [とる-かぶる]
- (101) 通る時に戸を閉めて、通らない時に戸をあけるもの。(踏切)
[通る-通らない] [閉める-あける]

4.6 3組の反義語を含む例

以下に 3組の反義語が含まれるなぞなぞを挙げる。日本と英語それぞれ 2例見つけた。

4.6.1 [関] [関] [動] (関係概念:「人間関係」「空間」, 動詞:「相対性対立」)

- (102) くるみの木の下で、おまえ そちらか、おれ こちらか、と言って
別れて 逢うもの。(足袋の紐)
[おまえ-おれ] [そちら-こちら] [別れる-逢う]

4.6.2 [関] [形] [形] (関係概念:「空間」, 形情性概念:「色」 2組)

- (103) 先は白馬, 中が赤馬, あとが黒馬。(山火事)
[先-後] [白い-赤い] [赤い-黒い]

4.6.3 [名] [形] [形] (形情性概念: 「色」1組)

- (104) Little Nancy Etticoat, かわいいナンシー・エチコート,
 With a white petticoat, 着ている白いペチコート,
 And a red nose; 赤い鼻を突き出して,
 She has no feet or hands, 手もなければ足もない。
 The longer she stands 立てば立つほど
 The shorter she grows. 低くなる。(candle: ろうそく)
 [白いー赤い] [足ー手] [長いー短い]

4.6.4 [関] [関] [形] (関係概念: 「空間」2例)

- (105) Four legs up and four legs down, 上に 4本足,
Soft in the middle and hard all 'round.
 中は柔らかく^{まわり}周囲は硬いもの。
 (bed: ベッド) [上ー下] [柔らかいー硬い] [真ん中ー回り]

4.7 4組の反義語を含む例

4組の反義語を含む例 ([関] [関] [形] [形]) は、以下の英語の 1例だけが見つけられた。(関係概念: 「人間関係」2例)

- (106) I am a little seed. ぼくは小さな種子。
 I live in a large overcoat. 大きなオーバーに身をくるんでる。
 And when they are going to plant me, ぼくをまこうとするときには
 they take my coat off and leave me in a thin little red vest.
 小さな薄手の赤いチョッキのままに放っておく。
 I am not tall, but some of my sisters and brothers are tall.
 ぼくは背は高くないけれど、ぼくの兄弟たちは背が高い。
Boys and girls are very fond of me. Can you guess who I am?
 少年少女はぼくのファン。ぼくはだれだい。(peanut: ピーナッツ)
 [小さいー大きい] [背が高くないー背が高い]
 [姉妹たちー兄弟たち] [少年たちー少女たち]

5. 考察

4節では、サンプルとした 158の日本の二段なぞと、130の英語の意味解きなぞの中で見つけられた反義語ペアを森岡の分類に従って調査した。分類と数を整理すると以下のようになる。関係概念、形状概念、動作性概念の下位分類（関係概念---{時間，空間，人間関係}；形状概念---{色}；動作性概念---{肯定-否定，能動-受動，相対的対立}）については括弧内でそのペア数とともに言及している。

(107) 日本のなぞなぞ (総数53例)

(i) 1組—31例

[名]---- 3

[関]----12 (時間 (4)；空間 (4)；人間関係 (4))

[形]---- 5 (色 (3))

[動]----11 (肯定-否定 (5)；相対的対立 (6))

(ii) 2組—20例

[名][関]---- 2 (空間 (2))

[名][動]---- 1 (相対的対立 (1))

[関][関]---- 3 (空間 (3)；人間関係 (3))

[関][形]---- 1 (時間 (1))

[関][動]---- 1 (空間 (1)，相対的対立 (1))

[形][形]---- 3 (色 (5))，

[形][動]---- 5 (肯定-否定 (1)；相対的対立 (4))

[動][動]---- 4 (肯定-否定 (5)；相対的対立 (3))

(iii) 3組—2例

[関][関][動]---- 1 (人間関係 (1)；空間 (1)，相対的対立 (1))

[関][形][形]---- 1 (空間 (1)，色 (2))

(108) 英語のなぞなぞ (総数40例)

(i) 1組—24例

[名]---- 5

[関]---- 9 (時間 (2) ; 空間 (4) ; 人間関係 (3))

[形]---- 7 (色 (4))

[動]---- 3 (肯定-否定 (2) ; 相対的対立 (1))

(ii) 2組—13例

[名][関]---- 1 (人間関係 (1))

[名][動]---- 1 (相対的対立 (1))

[関][形]---- 4 (空間 (3) ; 時間 (1), 色 (2))

[関][動]---- 4 (空間 (3); 時間 (1), 肯定-否定 (1); 相対的対立 (3))

[形][形]---- 3 (色 (6))

(iii) 3組—2例

[名][形][形]---- 1 (色 (1))

[関][関][形]---- 1 (空間 (2))

(iv) 4組—1例

[関][関][形][形] ---- 1 (人間関係 (2))

上の結果から、各分類の例の数を日本のなぞなぞと英語のなぞなぞについて調べてみると、表1のようになる(括弧内の割合は小数点第2位を四捨五入したものである)。

表1：日本と英語のなぞなぞに含まれる反義語の各分類に於ける数と割合

	日本のなぞなぞ (総数 77)	英語のなぞなぞ (総数 60)
名詞	6 (7.8%)	8 (13.3%)
関係概念	25 (32.5%) (時間---5 空間---12 人間関係---8)	22 (36.7%) (時間---5 空間---12 人間関係---6)
形情性概念	19 (24.7%) (色---8)	22 (36.7%) (色---13)
動作性概念	27 (35.1%) 肯定と否定 --- 11 能動と受動 --- 0 相対的対立 --- 16	8 (13.3%) 肯定と否定--- 3 能動と受動 ---0 相対的対立 ---5

表1の割合から何が言えるであろうか。まず、名詞については、英語の方が約2倍であり、半数以上が体の部分を表す語彙であることが特徴である。関係概念に関しては下位分類を考慮に入れてもさほどの差異がないように思われる。次に、形状概念の総数であるが、割合から、英語の方が日本の 1.5倍あり、さらに「色」の語彙の数については、英語が 13 (21.7%)、日本は 8 (10.4%) であり、英語の方が、2倍以上反義語を使用していることが分かる。一番顕著な相違点は、動作的概念の反義語である。割合で比べると、日本のなぞなぞには、英語の約 2.6倍も動詞の反義語ペアが観察される。同時に、共通した特徴として言えるのは、日英ともに、[能動-受動]を表す例が見つからなかったことと、[肯定-否定]と[相対的対立]では、語幹が異なる相対性対立の方がやや多かった点である。

以上から、日本と英語のなぞなぞに用いられる反義語の顕著な相違点は二点あると言えるだろう。第一に、英語のなぞなぞの方が形状概念を表す語彙が多く、また色を表す語彙数の割合では、日本のなぞなぞの 2倍以上ある。第二点は、動作性概念の反義語ペアの数の割合が、日本のなぞなぞには、英語のなぞなぞの 2.6倍観察されたことである。これらのことは、言語の違いがことば遊びに影響を及ぼす可能性を示唆している。

今回使用したサンプルとしてのなぞなぞ自体が偏っているという可能性も否定することはできない。しかし少なくとも、本研究の結果から、日本のなぞなぞは、英語のなぞなぞに比べると、動詞の反義語の数がはるかに多いという特徴が浮かび上がった。逆に、色の語彙は英語の方がかなり多く見つかった。これらは、日常の言語使用にも当てはまる特徴なのか、なぞなぞということば遊びのジャンルだけに限って生じる現象なのであろうか。これらの疑問の答えを探るには、さらなる研究が必要である。

6. 結論

本論は、反義語に注目して、日本のなぞなぞと、英語のなぞなぞを比較検討した。最初になぞなぞの種類と構造について考え、次に反義語についての考察と分類を説明した。その後、日本と英語のなぞなぞの例を分類し検討した。結果として、著しく異なる性質が二点観察された。第一は、英語のなぞなぞの方が形状概念を表す語彙が多く、色を表す語彙の割合が日本のなぞなぞの 2倍以上あった。第二に、動作性概念の反義語ペア数の割合は、日本のなぞなぞが、英語の約 2.6倍観察された。

注

- 1) 「正反対」のことを「真^{まぎやく}逆」と湯桶読みをするようになったとも指摘し、次の例を挙げている。
 「僕の妻は理数系でメカに弱い僕とは真逆だ。」
 「地図の見方を間違えて、真逆に歩いていった。」
- 2) わらべ歌に「勝ってうれしい花いちもんめ、負けてくやしい花いちもんめ」がある。
- 3) 一番少ない分け方は2分割である(玉村(1992), 森田(1996))。Lyons(1968, 1977)は、2語の間に中間的段階がない「相補的關係」(例: 'present-absent'), 連続した尺度に基づく「段階的尺度」(例: 'old-young'), ある種の方向性に基づく「換位性」(例: 'buy-sell')の3分類を提案している。4分類以上は、国広(2002)と村木(2002)等がある。
- 4) 参照した日本の辞典は、『活用自在反対語対照語辞典』(1998), 『反対対照語辞典』(1989), 『反対語便覧』(1996)の3冊である。この中の一冊でも反義語として扱われていれば、本論の反義語の例として取り上げた。また、英語の辞典としては、主に *Oxford Thesaurus of English* (2006) を参考にした。
- 5) イギリスもアメリカも英語圏にあり、文化を共有するため、同じなぞなぞが見つけられることは何ら不思議ではない。しかし、以下の例のようにアメリカのなぞなぞであると判断できるものもある(『世界なぞなぞ大辞典』: pp.637-8)。
 'Where is Ann Arbor?'
 --- Answer: 'Anywhere you can anchor safely.'
 'Round as an apple and thin as knife. Answer this riddle and I'll buy you a wife!' ---Answer: 'a dime.'
 'What is the biggest jewel in the world?'
 ---Answer: 'a baseball diamond.'
 'When you visit Hollywood, where can you always be sure of seeing lots of stars?' ---Answer: 'in the Milky Way.'
- 6) 「食べる-出す」を「入れる-出す」と反義語として考えることも可能である。また「食べる」を使用することで比喩的に人を表す効果がある。
- 7) 英語で、足は 'foot' と 'leg' に区別されるので、英語では、反義語とは見なされないかもしれないが、日本語では、[手-足]は反義語と考えられるため、ここでは反義語と見なした。
- 8) [朝-昼]も反義語であるが、[朝-夜]だけを反義語として扱った。
- 9) 辞典では、[自分-他人][人-我]があつて、[人-自分]はなかったが、「ひと」は他人を表すという説明もあったことから、ここでは反義語とみなす。

- 10) 英語は、[top—bottom]であるが、『反対語便覧』(1996)には「天井-底」(景気・株価)として挙げられている。
- 11) 日本語では、反義語にはならない([誰も-誰でも])が、英語の辞典では、反義語とみなされている。
- 12) 類似する反義語の例として、次のようななぞなぞがある：
 ‘What changes a lad into a lady?’ (答え：the letter y)
 上の例では、反義語は、[野郎-淑女]であり、[紳士-淑女：野郎-女郎]という関係があることから、対立した意味であると考えられる。
- 13) 参考にした辞典では、[行く-来る]と[行く-帰る]の両方とも反義語である。
- 14) 「ない」は形容詞だが、「ある」の否定形なので動詞として扱い、相対的対立として考えた。
- 15) なぞなぞでは、否定形「借りぬ」が用いられているが、語基だけを見ると、[返す-借りる]になり、反義語関係になるので、ここに入れた。
- 16) なぞなぞでは、不可能の意味「解けない」であるが、[肯定-否定]としての反義語と考え、[解く-解けない]を[解く-解かない]の変種と考えた。
- 17) なぞなぞでは、[丘-平地]であるが、日本語では、[山-野]に訳されるべきであろう。
- 18) 前置詞の‘with’と‘without’が、その目的語が存在しているか否かを表現していると考え、空間に関連した関係概念の反義関係であると捉える。
- 19) 「若い」の反義語は、辞書によると「老いた」であるが、「年を取る」も同じ意味であるので、反義語とした。
- 20) 「濡れる」は動詞だが、「濡れた」は形容詞的用法である。同様に、「かわく」も動詞だが、「着物がかわいた状態になると」と解釈できるので、形容詞と考えた。
- 21) 「帰り」は、「帰る」の名詞形であるが、意味的に動作であるので、動作性の中に含めた。
- 22) 「年寄り」は「年を取る」の名詞形であるが、意味から形情性概念とみなした。
- 23) 「入る」と「要る」とをかけている。

参考文献

- 池上嘉彦 1992. 『ことばの詩学』(同時代ライブラリー 132) 岩波書店, 東京.
- 清海節子 2011. 「なぞなぞに使用される反義語の考察」 『駿河台大学論叢』 42:87-107.
- 国広哲弥 2002. 「類義語・対義語の構造」 飛田良文・佐藤武義(編)『現代日本語講座第4巻 語彙』152-171, 明治書院, 東京.
- 鈴木棠三 1981. 『ことば遊び辞典』 東京堂出版, 東京.
- 玉村文郎(編)1992. 『日本語学を学ぶ人のために』 世界思想社, 京都.
- 野村恵子 2004. 『かなり気がかりな日本語』 集英社文庫, 東京.
- 橋内武 1990. 「英語のなぞなぞ」 『国際文化論集』 3:79-99.
- 村木新次郎 2002. 「意味の体系」 北原保雄(監修), 齋藤倫明(編)『朝倉日本語講座4: 語彙・意味』54-78, 朝倉書店, 東京.
- 森岡健二 1987. 『語彙の形成』(現代語研究シリーズ 第1巻) 明治書院, 東京.
- 森田良行 1996 (2001²). 『意味分析の方法』 ひつじ書房, 東京.
- Lyons, John. 1968. *Introduction to Theoretical Linguistics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Lyons, John. 1977. *Semantics*, 2 vols. Cambridge: Cambridge University Press.
- Murphy, M. Lynne. 2003. *Semantic Relations and the Lexicon*, Cambridge University Press, Cambridge.
- Pipecello W. J. and Thomas A. Green. 1984. *The Language of riddles*. Columbus: Ohio State University Press.

辞典

- 『活用自在反対語対照語辞典』 第4版 反対語対照語辞典編纂委員会(編)1998(2006⁴). 柏書房.
- 『世界なぞなぞ大辞典』 柴田武, 谷川俊太郎, 矢川澄子(編) 1984. 大修館.
- 『反対語対照語辞典』 第6版 北原保雄・東郷吉男(編) 1989(1998⁶). 東京堂出版.
- 『反対語便覧』 三省堂編修所(編) 1996. 三省堂.
- Oxford Thesaurus of English*. (Second Edition revised) (電子版) 2006. Oxford University Press.